

静岡市清水区感染症発生動向

2018年 36週 集計期間 9/3-9

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症	3	5	10	6	5	8		1							38
咽頭結膜熱	1			3	1	3		1			1	2	2		14
溶連菌感染症				2	2	3	2	1	1		4	3			18
感染性胃腸炎		2	2	3	3	1	3	1	1	1		8			25
水痘															
手足口病			2	1											3
伝染性紅斑															
突発性発疹		2													2
百日咳															
ヘルパンギーナ					1										1
流行性耳下腺炎						1	2								3
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu												2			2
小児科定点総数 106 増減 -1 前週比 99.1% 定点当たり 17.7 病院:開業医 5:101 増減 +1:-2															
内科Flu															
インフルエンザ総数 2 増減 1 前週比 200% 定点当たり .2 小児科:内科 2:0 増減 +1:0															

総数106、前週の99.1%と、不変です。

首位は、とうとうRS感染症、前週比97.4%、定点当たり6.3と、流行中です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比48%、定点当たり4.2と、この疾患としては少数です。

3位は、溶連菌感染症、定点当たり3と、急増しました。

4位は、咽頭結膜熱、前週比350%、定点当たり2.3と、この疾患としては多数です。

以下は、定点当たり1未満ですが、

手足口病、流行性耳下腺炎が、3名ずつで、同数です。

残りは、突発性発疹2名、ヘルパンギーナ、1名報告と続きます。

インフルエンザ、複数の定点から2名報告で、いずれも、瀬名の私立T中学です。

9/9、小児科休日当番は、来院数54名、胃腸炎6名、手足口病3名、

RS、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎1名ずつと、ご報告をいただいています。

当番医の様子を見ると、RSは、ピークに思えますが、（去年は37週がピーク）

アデノ、溶連菌、手足口病、流行性耳下腺炎が目立ってきました。